生産性向上支援訓練オープンコースのご案内 ㉖

～業務フローの可視化と再設計による組織の生産性向上～

令和８年度 第３弾

ムダを発見するための 業務プロセスの見える化と業務改善

コース番号：097-052

開催日時：2027年 1月 19日(火)　9：30～16：30（６時間）

募集締切：1月 5日(火)

受講料 3,300円（税込）

開催場所：ポリテクセンター山梨（裏図参照）

定　　員：16名程度（先着順）

推 奨 者：中堅層～管理者層

コースの狙い

ＩＴ分野で用いられている技法により、業務プロセスとデータの流れを見える化することで業務のムダを発見し、業務改善への活用や業務のシステム化への活用について理解します。

実施機関＆講師

株式会社エモーサル

研修講師

松原 秀樹氏



講師Profile

製造現場での長年の経験と、安全衛生分野での豊富な研修登壇実績を生かし、実務に即してわかりやすく指導。労働災害事例や演習に加え、受講者の意見を引き出しながら、現場力向上と安全意識の定着につなげます。

主な訓練内容

◎ **業務とデータの見える化とは**

(1) 中堅・管理者層に求められる業務改善の視点
- 現状業務の課題（属人化・ボトルネック・後戻り作業）
- 「作業者視点」から「組織・プロセス全体最適視点」へのシフト

(2) 業務プロセスとデータの構造把握
- 「誰が・何を・どう処理し・どこへ渡すか（データと情報の流れ）」
- 業務可視化がもたらすメリット（標準化、BPO/IT化の準備）

(3) 現状把握と問題意識の共有
- 自部門における「見えないムダ」の洗い出し

【演習】自社・自部門の業務における課題抽出ワークショップ

◎ **業務とデータの見える化技法**

(1) 業務フロー図・プロセスマッピングの作成技法
- スイムレーン（担当別・部門別）を活用したプロセスの図式化
- インプット/アウトプットと判断分岐の明確化ルール

(2) データフロー（DFD）と情報整理の手法
- 紙・エクセル・システム間を行き来するデータの流れの整理
- 二重入力・手戻り・重複転記の発見ポイント

(3)プロセスモデリングの実践
- 複雑な業務プロセスを抜け漏れなく整理するテクニック

【演習】サンプルケースを用いた業務フロー図・データフロー作成演習

◎ **業務プロセスの見える化と継続的改善**

(1) フレームワークを活用したムダの排除と再設計
- ECRSの原則（排除・結合・交換・簡素化）によるプロセス改善
- 業務の標準化とマニュアル化・ルール化のポイント

(2) IT・DXツール・システム化への展開
- 可視化されたプロセスに基づく要件整理とIT活用（RPA、ノーコード、基幹システム連動等）

(3) 組織における継続的改善（BPM）と定着化
- 改善プラン策定と優先順位付け（効果×実現性）
- チームを巻き込むKPI設定とPDCAサイクルの回し方

○ 訓練内容のココがポイント！

・業務フロー図やデータフローの可視化技法（スイムレーン等）を実際に手で描く演習を通じて、組織的なボトルネックや重複作業を客観的に見つけ出すスキルを体得します。
さらに、単なるコスト削減・効率化だけでなく、ECRSフレームワークを用いた業務の再設計や、IT/RPA/システム化に向けた要件定義への接続、チーム内での継続的な改善活動（BPM）の定着手法までカバーすることで、受講後すぐに社内でリーダーシップを発揮できるカリキュラムとして構築しています。

生産性向上支援訓練の「マイページ」サービスが始まりました。企業（事業所）をマイページに登録すると、生産性訓練の申し込み等をＷｅｂから行うことができます。

マイページURL
https://mypg.tds.jeed.go.jp/

マイページの詳細、お申し込みはこちらから

どちらからでも申込可

ポリテク山梨のＨＰ内に、ＰＣ（Excel）で入力できる受講申込書の様式データがありますので、受講申込書に必要事項をご入力の上、メール又はＦＡＸでお申し込み下さい。